

じょうぎょうじうらいせきむつうらにちょうめ5
ばんちやぐらぐん

上行寺裏遺跡(六浦二 丁目5番地やぐら群)

(金沢区No.40遺跡)

調査期間 20080417～20080617

整理期間 20080618～20080826

所在地 横浜市金沢区六浦二
丁目

時代 中・近世



概要

本遺跡は、神奈川県横浜治水事務所による、平成20年度六浦二丁目南地区急傾斜地崩壊対策工事に伴って調査されました(平成18・19年度に実施した調査の継続です。)

上行寺裏遺跡は、東西・南北で500m程の規模を持つ丘陵の全体が遺跡範囲になります。丘陵の崖面には、やぐらなどが多数確認・調査されており、周知の遺跡となっています。平成20年度に発掘調査を実施した調査地点も丘陵南西崖面の一端にあたります。

ちかしきこう

発掘調査では、やぐらと地下式坑(現代でいうところの地下室のようなもの)が発見されました。発見当時、やぐらは

ちかしきこう

後世に物置やゴミ捨場として使われており、地下式坑もゴミ混じりの土で埋まっている状態でした。やぐらは調査前ま

ちかしきこう

で、地下式坑はおそらく現代に近い時期まで、様々な使わ

ちかしきこう

れ方をされていたようです。やぐら、地下式坑ともに造営された時代を示すような遺物は残念ながら出土していません。

平成20年度の調査成果としては、平成18年度からの調査成果と関連して考えてみると、上行寺裏遺跡における丘陵南西の崖面の様相が、より明らかになったと考えられます。



▲遺跡遠景(北西から)



▲12号やぐら(西から)



▲3号地下式坑(東から)